

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻72号

写真・資料 長岡 恂 吉田文雄・山口勇一・青砥航次

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます。

<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

谷戸のシダ

2022年9月17日(土)



ミズニラ

湿地に生育するシダ。

一見シダには見えない。神奈川県レッドデータ絶滅危惧 I B

主催 あつぎこどもの森クラブ

こどもの森公園のシダ

2022年（山口）シダはみな同じように見えると思う人がいるかもしれませんが「こどもの森公園」だけでも左の表以上の種類があります。

| | |
|----|------------|
| 1 | イヌスギナ |
| 2 | イヌワラビ |
| 3 | イノデ |
| 4 | イワガネゼンマイ |
| 5 | イワガネソウ |
| 6 | オオイタチシダ |
| 7 | オオハナワラビ |
| 8 | オオバノイノモトソウ |
| 9 | オオヒメワラビ |
| 10 | オクマワラビ |
| 11 | カニクサ |
| 12 | クサソテツ |
| 13 | クマワラビ |
| 14 | ゲジゲジシダ |
| 15 | コウヤワラビ |
| 16 | コモチシダ |
| 17 | コユルギイノモトソウ |
| 18 | スギナ |
| 19 | ゼンマイ |
| 20 | タチシノブ |
| 21 | トウゴクシダ |
| 22 | トラノオシダ |
| 23 | ノキシノブ |
| 24 | ヒメシダ |
| 25 | ヒメワラビ |
| 26 | フモトシダ |
| 27 | ベニシダ |
| 28 | ヘビノネゴザ |
| 29 | ホシダ |
| 30 | ホラシノブ |
| 31 | ミズニラ |
| 32 | ミゾシダ |
| 33 | ミドリヒメワラビ |
| 34 | ヤブソテツ |
| 35 | ヤマイトチシダ |
| 36 | リョウメンシダ |
| 37 | ワラビ |



ベニシダ



トウゴクシダ



ホシダ



ゲジゲジシダ



フモトシダ



トラノオシダ



コモチシダ



イノデ



リョウメンシダ



クマワラビ



オクマワラビ



オオヒメワラビ



ミドリヒメワラビ



ヒメシダ



ノキシノブ



オオバノ
イノモトソウ



イワガネソウ



カニクサ



コウヤワラビ



オオハナワラビ



フユノハナワラビ

最近のこどもの森公園 9月10日

植物



ゲンノショウコ



ミズタマソウ



コバノカモメツル



マルバノホロシ



マキエハギ



ナンバンギセル

昆虫



ホバリングして蜜をすう、
ホソホウシヤク



ウラギンシジミの
翅の裏は銀色。羽根の先が
丸みを帯びる夏型



マユタテアカネ♀
ツマグロ形



マユタテアカネ♂

ナツアカネ
マユタテアカネと比
べく胸の色に注目



オンブバッタ

コケ ・ キノコ



コホウオウコケ



ニホンカナヘビ

「小恐竜」ニホンカナヘビ、行き場失
ったか…東京23区で絶滅危機
2022年8月5日 読売新聞



テングタケ



シロオニタケ

センサーカメラがとらえた画像

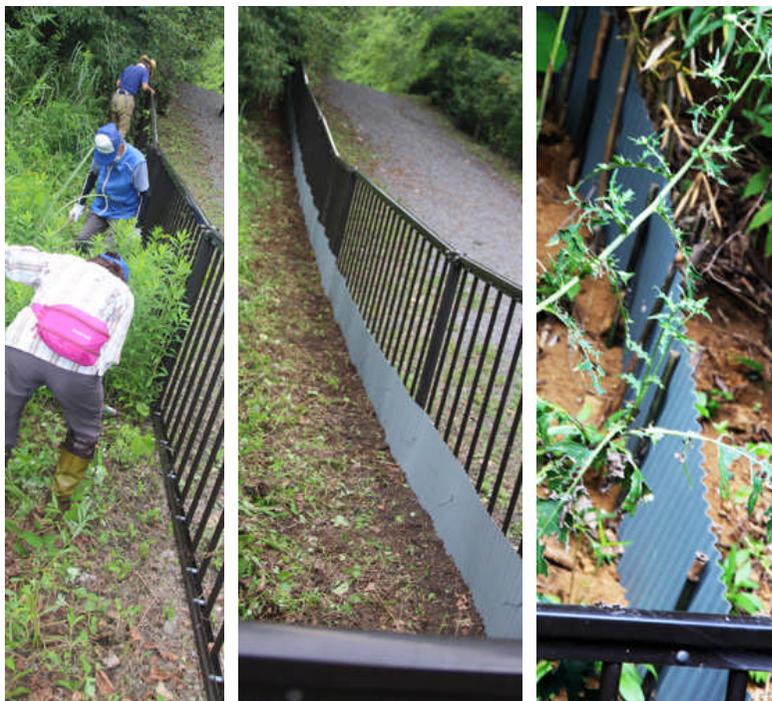


イノシシ 7月9日



シカ 8月16日

外来種動向



8月20日に、ウシガエルの通路になっていると想像されるあづまや付近に侵入防止用の柵を設置しました。

左の写真は作業の様子とできた柵です。

これから秋の季節が移動の時期になるのでこれで様子を見ます。

シンテッポウユリ

今年、切り通しの斜面にたくさんの白いが咲きました。



今街中に広がっているのが見られる、シンテッポウユリというユリです。

種は風によって飛散し、発芽率も高いのでいろいろなところで見られるようになりました。

この正体は、九州南部から沖縄にかけて分布するテッポウユリと台湾原産のタカサゴユリが交雑したものとされています。環境省の「生態系被害防止外来種リスト」で「その他の総合対策外来種」に指定されており、対策が必要です。問題は本来のテッポウユリ等の在来種の生育地を奪う可能性があることです。きれいだからと言って植える人もいますが、慎みたいものです。

こどもの森ガイドウオーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

ガイドウオークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みめます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

| | |
|-----------------------------|--------------------|
| 4月16日 スミシの秘密 | 10月15日 秋の花 ←次回 |
| 5月21日 キアシドクガ 一手すりの上のドラマー | 11月19日 木の実・草の実・キノコ |
| 6月18日 木に咲く花 | 12月17日 生き物の冬越し |
| 7月16日 樹液の酒場 | 2023年 |
| 8月20日 水辺の生き物 | 1月21日 冬の野鳥 |
| 9月17日 谷戸のシダ | 2月25日 冬芽とコケ |
| | 3月18日 春の兆し |

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

| | |
|------------------------|------|
| 4月10日 こどもの森公園と水生生物について | |
| 5月 8日 両生類～カエル・イモリについて | |
| 6月12日 ホタルについて | |
| 7月10日 水生カメムシについて | |
| 8月21日 トンボについて | |
| 9月23日 河川調査について | ← 次回 |
| 10月 2日 外来生物について | |
| 10月16日 水生コウチュウについて | 七沢遠足 |
| 11月13日 ホトケドジョウについて | |
| 12月11日 冬の生き物の過ごし方 | |
| 1月 9日 落ち葉かき・カブトムシ増やし | |
| 2月12日 トンボの幼虫を絵に描こう | |
| 3月12日 ヤマアカガエルについて | |

新型コロナウイルスの蔓延状況により中止の場合があります。

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜13時 ~15時